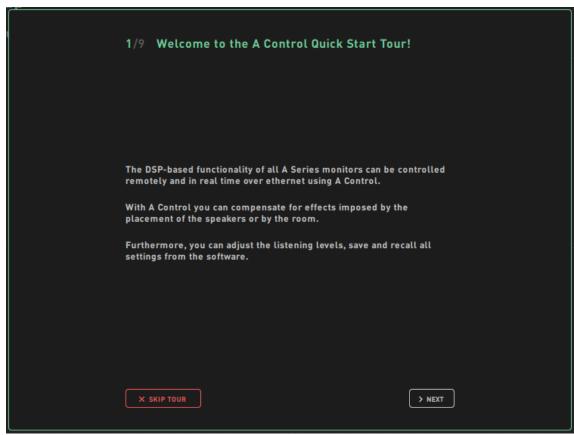
A-control クイックスタートガイドへようこそ!

A Control を使用することで、DSP ベースの機能をイーサネット経由で遠隔かつリアルタイムに制御することができます。

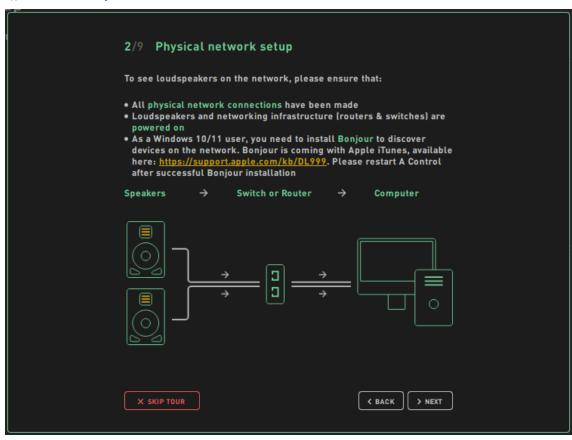
A Control を使えば、スピーカーの配置や部屋によって生じる影響を補正することができます。

さらに、ソフトウェアからリスニング・レベルの調整、すべての設定の保存と呼び出しが可 能です。



ネットワーク上のラスピーカーを見るには、以下を確認してください。

- ・すべての物理的なネットワーク接続が完了していること
- ・スピーカとネットワーク機器(ルータ、スイッチ)の電源が入っていること。
- ・Windows 10/11 をお使いの場合、ネットワーク上のデバイスを検出するために、Bonjour をインストールする必要があります。Bonjour は Apple の itunes に付属しています。 http://support.apple.com/kb/DL999。Bonjour のインストールに成功したら、AControl を再起動してください。



コントロールのユーザーインターフェイスには、さまざまなセクションがあります。



ネットワークセクションには、ネットワーク上に存在するラウドスピーカー、現在のシステムで使用されているラウドスピーカー、または以前ネットワーク上に存在したが行方不明になっているラウドスピーカーが表示されます。

## ミッシング

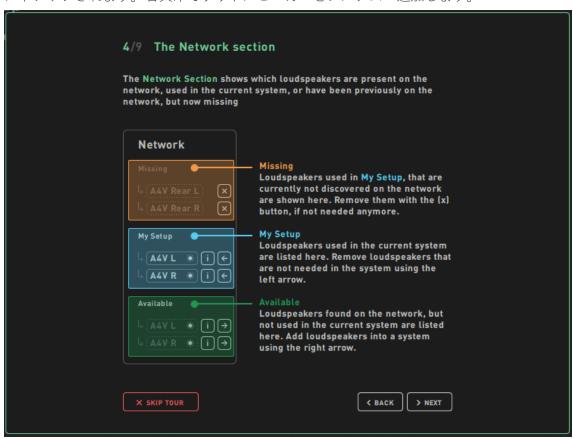
マイセットアップで使用され、現在ネットワーク上で検出されていないラウドスピーカーがここに表示されます。不要になった場合は、(x)ボタンで削除してください。

## マイセットアップ

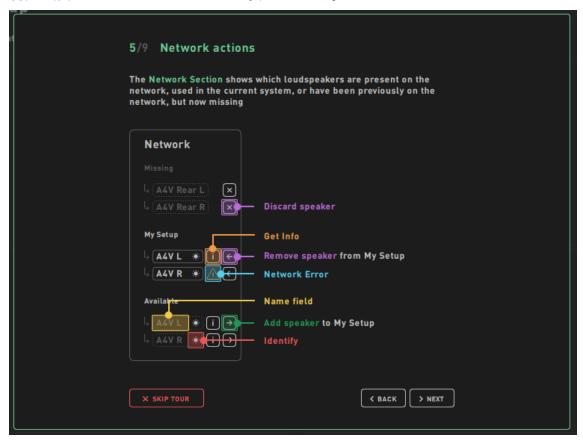
現在のシステムで使用されているラウドスピーカーがここに表示されます。システムで不要なラウドスピーカーは、左矢印で削除します。

## 使用可能

ネットワーク上にあり、現在のシステムで使用されていないラウドスピーカーがここにリストアップされます。右矢印でラウドスピーカーをシステムへ追加します。



ネットワークセクションには、ネットワーク上に存在するラウドスピーカー、現在のシステムで使用されているラウドスピーカー、または以前はネットワーク上に存在していて、現在は存在しないラウドスピーカーが表示されます。



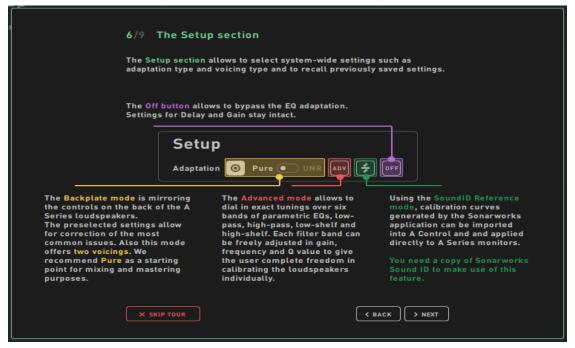
セットアップセクションでは、アダプテーションタイプやボイシングタイプなど、システム全体の設定を選択したり、以前に保存した設定を呼び出したりすることができます。 Off ボタンを押すと、EQ の適応をバイパスすることができます。ディレイとゲインの設定はそのまま維持されます。

バックプレート・モードは、A シリーズ・ラウドスピーカーの背面にあるコントロール類をミラーリングしています。あらかじめ選択された設定により、最も一般的な問題を修正することができます。また、このモードは 2 つのボイシングを提供します。ミキシングやマスタリングの出発点として、ピュアをお勧めします。

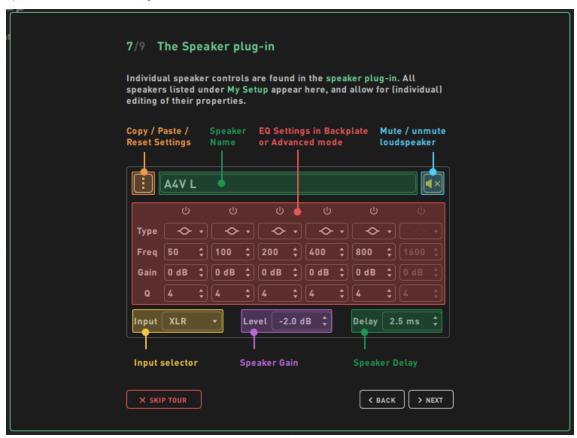
Advanced モードでは、ローパス、ハイパス、ローシェルフ、ハイシェルフの6 バンドのパラメトリック EQ を正確にチューニングすることが可能です。各フィルターバンドはゲイン、周波数、Q 値を自由に調整でき、ラウドスピーカーを個別にキャリブレーションすることが可能です。

SoundID Reference モードを使用すると、Sonarworks アプリケーションで作成したキャリブレーションカーブを A Control にインポートし、A シリーズのモニターに直接適用することができます。

この機能を使用するには、Sonarworks Sound ID が必要です。



スピーカーの個別コントロールは、スピーカープラグインにあります。マイセットアップ に登録されているすべてのスピーカーがここに表示され、そのプロパティを(個別に)編 集することができます。



メニューバー

メニューバーは、システム全体の操作を提供します。

Global Menu では、ファイル操作や Sound ID Reference ファイルのインポートを行います。



まとめ

A シリーズと A Control ソフトウェアを楽しくお使いいただければ幸いです。フィードバック、バグレポート、機能リクエストは、beta@adam-audio.de までお寄せください。

